

ZENBUTSU

全仏



No.
592

仏暦2556年9月
[2013年]



特別企画「特別拝観 天台三山文化財を巡る旅」記念写真（比叡山延暦寺会館）

目次

- ルクセンブルクINGナイトマラソン併催
InterFaith（諸宗教間交流）駅伝参加ツアー報告②……………2
- 特別企画「特別拝観 天台三山文化財を巡る旅」報告……………4
- 比叡山宗教サミット26周年「世界平和祈りの集い」開催……………5
- 第23回 参議院議員通常選挙 本会推薦候補者投票結果……………5
- 第30期第3回 人権問題連絡協議会 開催……………6
- 『首相及び閣僚の靖国神社公式参拝についての要請』文書を提出……………6
- 東日本大震災第6次支援金拠出に関するご案内……………7
- 第42回 全日本仏教徒会議 和歌山・高野山大会……………8

も、仏旗を掲げ、三帰依文をパリ語で唱和し、世界平和への願いをお祈りした。

本誌前号で既報のとおり、深夜にわたる競技を終え、翌日、カトリック教の施設で表彰式が行われた。その際、本会より来年北京都でInterFaith 駅伝を実施する旨を広報させていただいた。

最後に、シーク教徒の一般住宅で、シーク教徒ならではの食材にこだわった昼食会に参加し、それぞれが親交を深め、次回大会での再会を誓った。

なお、駅伝走者は各自ホストファミリー宅へ宿泊し、初参加の私たちも各家庭において日本仏教や文化の一端を紹介した。

日本仏教を紹介するワークショップ (六月九日)

表彰式と同会場であるカトリック教の施設において、一般市民を対象にした日本仏教を紹介するワークショップ（坐禅体験、書道教室や臨済宗僧堂での修行生活のビデオ）を開催した。マラソンの翌

日で、日曜日の雨天にも関わらず、ルクセンブルク在住の日本人や隣国などから約百名が参加した。

特に坐禅会は人気が高く、曹洞宗ヨーロッパ国際布教総監部から坐具を借用し、本格的に二回に分けて実施することができた。

今回のワークショップは大盛況で、終了時間間際まで参加者が途絶えることはなかった。改めて、ヨーロッパでの日本文化、仏教・禅に対するの関心の高さが伺えた。

京都マラソンでのInterFaith 駅伝実施 (来年二月十六日)

ルクセンブルクでは、諸宗教の宗教者が一堂に会し、マラソンを通して国籍の異なる宗教者や仏教者同士の宗派の教義を超えた交流ができた。実際に顔と顔をあわせて、言葉や文化、生い立ちなどを理解することで、お互いを尊重し、助け合っている世界があることをあらためて確認した。

そして、各種交流会行事において、たくさん参加者より、日本から持参した三枚の仏旗に、東日

本大震災で被災された方々へのお見舞いや励ましの寄せ書きを頂戴した。

本会は現在、来年開催の京都マラソンにおいて、諸宗教の宗教者による駅伝をはじめ交流プログラムを実施するべく準備している。異なる宗教の間でMarathon for a United World (一つの世界を目指すマラソン)とつづInterFaith 共通

ツアー参加者の感想

異宗教の方々と共に語り、食事し、歌い、そして走る時間を共有しました。マラソンを走ることで、すぐに世界平和を達成することはできませんが、マラソンを通してもっと繋がりが、生き生きと友好を深められます。宗教の違いに多大な議論を費やすより、価値があると感じました。

修道院では一日七回の祈りによって神に近づこうとされており、修道士は空き時間には読書や勉強をされていました。禅の修行道場では坐禅や作務によって、本来持っている仏心に目覚めることを目標としており、

のスローガンのもと、「想い」を襷に込めて繋いでいく試みは、異なる国の人々が交流し理解を深めていく姿を世界に表現するまたとない機縁である。ともに手を携えて、東日本大震災の復興をはじめとする様々な支援事業に取り組み、そして、世界平和の実現に寄与していきたい。

そこには大きな違いがあります。しかし、毎日と同じ規則で淡々と質素に生活していくことは共通であり、修道士たちの神に仕える真摯な姿に、私自身、改めて修行の大切さを感じ、初心を思い出し、一生懸命にやらねばと心に誓いました。

他宗教の考え方を直接体験することができたのは、何にも代えがたい経験になりました。世界における日本仏教に対する期待と評価もしっかりと受け止めることができました。また、日本仏教の中においても普段はおつきあいが少ない他宗派の僧侶の皆さんとの交流は、今後の活動に大きな力になると思います。

特別企画「特別拝観 天台三山文化財を巡る旅」報告

本会特別企画「特別拝観 天台三山文化財を巡る旅」を七月二十六日～二十七日に開催いたしました。今回のツアーは本会賛助会員の皆様を対象に、仏教の魅力の本会ならではの企画で体験していただくという主旨のもと、天台宗、天台寺門宗、天台眞盛宗の全面的な協力により実現いたしました。

ツアー概要

拝観場所 比叡山延暦寺、三井寺、西教寺等
 宿 泊 延暦寺会館
 料 金 一万五千元(食事夕・朝・昼各一回、延暦寺会館宿泊代込)
 参加人数…十七名

◆七月二十六日(一日目)

J R 京都駅八条口に集合。その後バスで比叡山延暦寺に登嶺。まず伝教大師最澄の御廟がある西塔浄土院を参拝。その後、東塔の大講堂に移動、比叡山で修行した各



半田孝淳会長、阿純孝宗務総長、武覚超比叡山延暦寺執行と記念撮影(比叡山延暦寺 大書院内)

宗祖像等を参拝、延暦寺の総本堂となる根本中堂を拝観しました。その後、大書院への特別拝観を実施し、半田孝淳本会会長から、本会への思いを中心にお話をいただき、記念撮影を行いました。また、阿純孝宗務総長からのご挨拶と、半田座主猥下、天台宗、比叡山延暦寺からそれぞれ記念品が参加者に授与されました。武覚超比叡山延暦寺執行から「比叡山の歴史」その特質と教え」のご講演、藤波源信北嶺大行満大阿闍梨から

は千日回峰を通じての体験談等のお話をいただき、参加者は深い感銘を受けていました。

夕食は延暦寺会館食堂にて精進料理が参加者に振る舞われ、和やかな中での会食となりました。

◆七月二十七日(二日目)

早朝六時半より、根本中堂にて朝のお勤めを参拝。朝食の後、境内拝観。バスにて天台寺門宗総本山の三井寺に移動。特別拝観となる光浄院客殿にて福家英明管長からお言葉をいただきました。福家俊彦執事長ご案内のもと、観学院客殿の特別拝観、本堂の金堂、三井の晩鐘、弁慶の引きずり鐘等を拝観しました。

その後、天台眞盛宗総本山西教寺に移動、旬の食材を使用した昼食をいただきました。

特別拝観として収蔵庫を拝観、本堂にて西村冨紹管長にお言葉をいただきました。客殿では普段立ち入れない場所にもご案内いただきましたほか、西教寺と豊臣秀吉、明智光秀との関係等についても深く解説をいただき、参加者は非常に

高い関心を寄せていました。参拝終了後、J R 京都駅にて解散となりました。

今回のツアーでは、各本山での詳細な解説付きでの特別拝観はもちろんのこと、三宗派全ての管長猥下にお会いしてお言葉をいただきました。各本山から別々に参拝記念品も授与され、感慨深いツアーとなり、参加した方々からは大変ご好評をいただきました。本会では今後も主に賛助会員を対象とした、魅力あるツアーの開催を予定しております。本ツアーの詳細なご報告に関しては、本会ホームページをご覧ください。

<http://www.jibfne.jp/>



解説を受けながら三井の晩鐘を参拝する参加者(三井寺)

比叡山宗教サミット二十六周年「世界平和祈りの集い」開催

八月四日に「世界平和祈りの集い」が滋賀県大津市の比叡山延暦寺で開催され、国内外から約千人が参集し、本会より小林正道理事長が参列した。

比叡山宗教サミットは、宗教・宗派を超えて宗教者が集い、平和の祈りを捧げる行事で、同時期に開催される「天台青少年比叡山の集い」参加者も毎年参列している。

般若心経読誦による法楽の後、半田孝淳天台座主は平和祈願文を奉読、その中で「一九八七年より比叡山宗教サミットでは世界の恒久平和を祈ってきたが紛争は絶えず、新たな問題が山積みである。今こそ宗教・宗派を超えて祈り、更に行動を起こし、我欲を超えた叡智をもって諸問題に対処すべき時が来ている事を真摯に受け止めるなくてはならない」と述べた。

その後、仏教、キリスト教、イスラム教、神道、新宗教、諸宗教など各団体の代表が壇上へ登り、「平和の鐘」の音が響く中、全員により世界平和の祈り及び東日本大震災の復興、犠牲者追悼のために黙祷が捧げられた。また、本会

の小林正道理事長が仏教を代表して登壇した。

次いで、海外から教皇庁諸宗教対話評議員会議長ジャン・ルイ・トーラン枢機卿のメッセージが教皇庁駐日全権特命大使ジョセフ・チエノットゥ大司教により伝えられ、続いてWFB（世界仏教徒連盟）パン・ワナメティー会長のメッセージが司会より披露された。

また次代を担う、高校生、青少年代表から「平和」への思いが発表され、参列者の共感を呼んだ。最後に「平和の合い言葉」を全員で唱和し、平和

実現への誓いを新たにしました。式典終了後、延暦寺会館にてレセプションが開催され、和やかな雰囲気の中散会となった。



壇上で祈りを捧げる宗教者代表

第二十三回参議院議員通常選挙 本会推薦候補者投票結果

七月四日、第二十三回参議院議員通常選挙が公示され、同二十一日に投票が行われた。

本会では国政選挙に際し、加盟団体からの推薦を得た上で、本会の意義と目的ならびに活動への支援・協力にご理解いただける被選挙人に対して選挙推薦を行っている。今回の選挙では六月四日付けで、各加盟団体宛てに推薦手続きを告知したところ、五つの加盟団体より総計二十八名の推薦があった。

本会推薦にあたり、申請書類精査の上、二十八名全員を本会推薦者として承認し、公示日をもって推薦書・檄文を候補者に送付した。承認した候補者・選挙区は以下のとおり。「当」は当選を表す。

無料法律相談室

本会顧問弁護士の長谷川正浩弁護士による無料法律相談を毎月第二、第四木曜日の午後開催しております。本会事務局03(3437)9275へ事前予約の上おいで下さい。

●自由民主党 (順不同・敬称略)

- 愛知 治郎 宮城 当
- 石井みどり 比例 当
- 鴻池 祥肇 兵庫 当
- 酒井 庸行 愛知 当
- 島田 三郎 島根 当
- 武見 敬三 東京 当
- 西田 昌司 京都 当
- 橋本 聖子 比例 当
- 古川 俊治 埼玉 当
- 松山 政司 福岡 当
- 溝手 顕正 広島 当
- 若狭 勝 比例 当

●民主党

- 石井 一 比例 当
- 大久保潔重 長崎 当
- 大西 孝典 奈良 当
- 小川 勝也 北海道 当
- 鹿野 道彦 比例 当
- 北神 圭朗 京都 当
- 鈴木 寛 東京 当
- 野田 国義 福岡 当
- 牧山ひろえ 神奈川 当
- 松浦 大悟 秋田 当
- 松野 信夫 熊本 当

●生活の党

- 佐藤 公治 広島 当
- 広野ただし 比例 当

●日本維新の会

- 中山 恭子 比例 当
- 室井 邦彦 比例 当

●新党大地

- 吉羽 美華 大阪 当

第三十期 第三回 人権問題連絡協議会 開催

七月四日午後三時三十分より、

秋葉原ダイビル五階のカンファレンスフロアにおいて標記協議会が開催され、本会加盟団体十三団体と、内閣官房、外務省、厚生労働省の担当官を含め三十二名が出席した。

本協議会は年度に二回開催しており、各加盟団体人権担当者より人権問題への取り組みや問題提起等をしていただき、人権啓発活動の一環として、全ての本会加盟団体内で情報の共有を図ることを主な開催目的としている。

今回は、テーマを「①朝鮮半島出身の旧民間徴用者等の遺骨返還について」と「②差別戒名の調査状況について」の二点に絞り、事前にご提出いただいたアンケートを元に協議を行なったが、これらの問題を取り上げる趣旨が不明瞭である点や、都道府県仏教会を含めて協議することは不適切ではないかといった意見が出た。

この点について、予告なく議題

を決定したことで協議会に混乱を招いたことについて事務局からお詫びをし、議事を進行した。

テーマ①については、内閣官房、外務省、厚生労働省のそれぞれの担当官より現況や今後の見通しについてご報告をいただいた。

この報告では、遺骨返還に向けた日韓の交渉は事務レベルでは詰めの段階であるが、最終的には今後、日韓首脳会談の実現に向けた動きなど、大きな政治的決断があれば解決の可能性があるというものであり、遺骨返還にむけた動きはほぼ停滞しているという内容のものであった。

テーマ②については、各団体の差別戒名の調査状況については、当日資料にて揭示し、補足事項については各団体より報告をいただいた。

本協議会では、主に宗派が取り組んでいる今回のテーマも含めた大きな課題を中心に、都道府県仏教会や仏教団体と足並みを揃えた活動を行なってゆけるよう、引き続き情報の共有を図ってゆく。

『首相及び閣僚の靖国神社公参拝についての要請』文書を安倍晋三内閣総理大臣に提出

八月五日、小林正道本会理事長他三名が首相官邸において、安倍晋三内閣総理大臣宛ての標記要請文を、世耕弘成内閣官房副長官へ手交した。(手交文は本会ホームページ参照：<http://www.jbfnet.jp>)

これを受け世耕副官房長官は「要請文を安倍首相にお渡しいたします」と述べた上で、首相は閣僚の参拝についてはそれぞれの判断に任せていることと、首相自身は混乱を招くべきではないとして、参拝はしない方向であると述べた。

本会は、すべての戦没者の追悼は、遺族を含め国民一人一人がそれぞれ信じる宗教儀礼によってなされるべきものとして、「信教の自由」を遵守する観点から、一九八一年の声明書以来一貫して首相及び閣僚の公式参拝に反対の意思を表明し続けて来た。

この要請は、靖国神社は宗教法人法に定める宗教施設であり、特

に首相及び閣僚は、国を代表する公人であることから、その宗教行為については「政教分離」の原則にもとづくべきであることを主張するもので、決して靖国神社や国に殉じた全ての戦争犠牲者を否定するものではない。

現在も本会加盟の全国の寺院においては、先の大戦をはじめとした、すべての戦争犠牲者に対し敬意を払い、仏教者として丁重に供養を行なっている。

本会は、かつて私たち仏教者が戦争に加担してしまったことへの反省を踏まえ、今回の要請活動等を通じ、争いのない平和な世界を訪れる事を切に願っている。



要請文書を手交

(左：世耕弘成内閣官房副長官 右：小林正道本会理事長)

事務総局録事

▼第五回社会人権審議会開催

七月(十六日～三十一日)

- 十七日▼大阪府佛教会役員理事総会にて本会事業説明(ホテル日航大阪)
- ▼宗教法人審議会出席(文部科学省)
- 十九日▼局内会議
- 二十二日▼(株)廣濟堂太田氏他来局
- ▼加藤朋海氏来局
- 二十三日▼ABS山中氏他来局
- 二十五日▼(株)廣濟堂相澤氏来局
- ▼無料法律相談室
- 二十六日▼特別拝観「天台三山文化財を巡る旅」ツアー開催(～二十七日)(延暦寺・三井寺・西教寺)
- ▼BNN企画委員会出席(庭野平和財団)
- 二十九日▼総本山長谷寺・唐招提寺表敬訪問
- 三十日▼自由民主党今野智博衆議院議員秘書田中氏来局
- ▼InetHub 駅伝日本開催第一回準備委員会開催(事務局会議室)
- ▼大和証券主催公益法人セミナー参加(大和証券本社)
- 三十一日▼日本宗教連盟前幹事佐藤丈史氏通夜参列(浜田山キリスト教会)

八月(一日～十五日)

- 一日▼大村印刷是永氏他来局
- ▼(株)GRAPH若狭氏来局
- 二日▼東映(株)荻野氏来局
- ▼オメガコム五十嵐氏来局
- ▼第四十二回全日本仏教徒会議和歌山・高野山大会第五回実行委員会出席(高野山真言宗宗務所)
- 四日▼比叡山宗教サミット二十六年「世界平和祈りの集い」出席(比叡山延暦寺)
- 五日▼首相及び閣僚の靖国神社公式参拝についての要請文手交(首相官邸)
- 七日▼局内会議
- 八日▼総務省・経済産業省来局
- ▼アケボノスクリーン永井氏他来局
- ▼国土交通省来局
- ▼外務省大臣官房広報文化外交戦略課訪問
- ▼無料法律相談室
- 十五日▼政府主催全国戦没者追悼式参列(日本武道館)
- ▼日蓮宗主催千鳥ヶ淵戦没者追悼供養並世界立正平和祈願法要参列(千鳥ヶ淵戦没者墓苑)

東日本大震災第六次支援金拠出に関するご案内

本会は救援基金より、被災地での支援活動をされている団体、被災地の子ども達を対象に保養活動をされている団体、被災地での再生可能な自然エネルギー発電事業に對しまして、支援金を拠出しております。

助成金額

- 支援1 一件につき事業経費の五十%
- 支援2 一件につき事業経費の五十%
- 支援3 一件につき事業経費の五十%

申請対象期間

- 支援1 二〇一三(平成二十五)年内に開始する事業が対象
- 支援2及び3 二〇一三(平成二十五年)四月一日～八月三十一日
- 申込締め切り 二〇一三(平成二十五)年九月三十日十六時必着

申込方法

本会ホームページから各書式をダウンロードし、もれなく記入して郵送にてご提出ください。その他必要な添付書類も一緒に添えて申請してください。

申込先・お問い合わせ先

全日本仏教会 社会人権部

- 支援1 被災地における再生可能な自然エネルギー発電事業(太陽光・風力・小水力・バイオマス等)への支援
- 支援2 被災地の子ども達を対象とした保養事業への支援(主催が被災地以外の団体も可)
- 支援3 被災地支援活動

※事業経費とは、支援活動にかかる費用(材料費・運送費等)で、支援活動者にかかる費用(交通費・宿泊費等)は含まれません

第42回 全日本仏教徒会議 和歌山・高野山大会

2013年10月16日(水)／17日(木) (於) 高野山大学黎明館

大会テーマ

宗教と環境 —自然との共生—

豊かな自然に包まれた地であり、日本人の信仰の礎ともいえる歴史や文化が息づく和歌山において、大会テーマを【宗教と環境—自然との共生—】として「第42回 全日本仏教徒会議 和歌山・高野山大会」を開催いたします。

今大会のシンポジウムでは「宗教と環境」をテーマとして、宗教者並びに有識者のご意見を賜ります。

近代以降急速に発展し続けている科学技術により、物質的に恵まれた日常生活が可能となりました。しかしながら、その結果、現在地球上の資源が枯渇に瀕し、大気汚染が進み、異常気象が常態化する事態を招いております。

—昨年東日本を襲った大地震、大津波とそれに伴う原子力発電所の大事故を経験し、ようやく歯止め無く物質的な恩恵を享受し続ける従来の生活を根本的に変革することなくして、希望ある未来は約束されないと気付きはじめました。

このような社会状況の中、「現代文明・人・自然」が互いに調和し、共に生かしあい生きていく道を考え、いかに次世代へ継承していくのかを、日本人が永年にわたり培ってきた「教え(宗教・信仰)」の中に見出し、発信していきたいと考えます。

大会タイムスケジュール (メイン会場：高野山大学黎明館)

16日 (水)

17日 (木)

12:30 開会式
「全日本仏教徒のつどい」
第一部 13:30～
第二部 15:20～
※代議員会議併催
18:30 加盟団体交流懇親会
19:00 声明ライブ ナイトツアー

10:00 基調講演
シンポジウム
12:30 閉会式
記念式典

体験プログラム 9:00～17:00 (両日共当日受付)

- 写経体験
- 瞑想体験 (臨在禅・曹洞禅・阿字観)

森林セラピー

午前の部 9:30～ 午後の部 14:00 事前申し込み 定員各50名

開催期間内はこの他にも山内各地でイベントや展示が行なわれます。一般の方のご参加も受付しておりますので、お気軽にお申し込みください。

■お申し込み・お問い合わせ■

第42回全日本仏教徒会議 和歌山・高野山大会事務局

〒648-0211 和歌山県伊那郡高野町高野山132 高野山真言宗総長公室内

TEL: 0736-56-2011 FAX: 0736-56-5450

主催：和歌山県仏教会／高野山真言宗・総本山 金剛峯寺／公益財団法人全日本仏教会